

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびのび		
○保護者評価実施期間	R6年11月5日		～ R6年12月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	R6年11月5日		～ R6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが通所を楽しみにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの発達特性を踏まえた上で、子どもの興味・関心、好きなこと等を活動に取り入れている。</li> <li>担当者を中心に全児童の支援内容を全体で把握しており、どの支援者も全ての児童に等しく支援に関わることができる体制の構築に注力している。</li> </ul>	<p>今後も一人ひとりの個性を大切にに関わり、支援計画を作成し発達支援を実施する。</p>
2	子どもが安心感をもって通所している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>些細な日常場面においても、情報の出し方や条件を伝えることで、選択肢を絞り、自己選択・自己決定しやすい環境作りを意識しており、子どもの主体性を大切にしている。</li> <li>担当者を中心に全児童の支援内容を全体で把握しており、どの支援者も全ての児童に等しく支援に関わることができる体制の構築に注力している。</li> </ul>	<p>自己発信が困難な子どもに対しての意思疎通支援強化に努める。(PECS、マカトン法、音声変換機器等の活用)</p>
3	活動プログラムが固定化されないように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部、内部研修や見学を適宜行うことで得た知識やスキルを現場に活かしながら、事後の振り返りや改善を職員全体で行うことで活動内容を見直し、必要に応じて更新している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部、内部研修や見学を継続することで、情報を更新しより効果的な療育に取り組む。</li> <li>恵まれた自然環境を活用した四季折々の個別・集団活動を取り入れる。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	SNSによる情報発信	SNSに係る機器や通信環境の準備段階のため、活用の実現ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPのリニューアル</li> <li>Instagramの運用を開始することにより、支援プログラムの具体的な活動風景や利用者の成功事例等を写真と共にシェアすることで、視覚的にタイムリーな情報を保護者に伝え、信頼関係を構築する。</li> <li>公式LINEの活用により、保護者との連携強化を図る。</li> </ul>
2	児童発達支援計画(放課後等デイサービス支援計画)内容が日々のどの支援内容とリンクしているのかが、保護者に認識されにくい。	保護者への専門的支援の実施内容や日々の取組内容についての伝達時間の確保ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagramの運用を開始することにより、支援プログラムの具体的な活動風景や利用者の成功事例等を写真と共に発信することで、視覚的にタイムリーな情報を保護者に提供し、信頼関係を構築する。</li> <li>公式LINEの活用により、保護者との連携強化を図る。</li> </ul>
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の提供	保護者に対する研修情報の提供は行っているが、ペアレントトレーニングは実施していない。	<p>次年度の年間計画に保護者に対する研修等の内容を組み込む。</p>